

授業科目名	ライブラリー・ガバナンス論
科目番号	01MB544
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 AB 金 7,8
担当教員	池内 淳, 小泉 公乃
授業概要	ライブラリー・ガバナンスに関わる諸問題を扱う。ガバナンスは「統治」と訳されることが多い。その内容は、関連する諸法規・基準の理解と健全な経営管理を意味する。この科目では図書館および情報センターの経営管理に関わるトピックを中心に講義とケースメソッドを中心に進める。公共図書館と大学図書館それぞれに関わる問題と共通する問題に対して理解を深める。文献・資料・ウェブサイトなどの情報を収集分析し、ライブラリー・ガバナンスを利用者, 組織, 図書館員等さまざまな視点から「良い図書館とは何か」を議論し、説明を行えるようにする。
備考	図書館経営管理コース 講義科目
達成目標	ライブラリー・ガバナンスの概念について理解する。 図書館の使命、目標、目的、機能とコミュニティの関係性を理解する。 図書館活動に関係する問題点、その展開を明確にする。 図書館活動の企画運営に関する知識を深める。 最終的に図書館経営の観点から図書館とコミュニティを統治できる基礎を習得する
授業計画	1) ライブラリー・ガバナンスとは (1) ライブラリー・ガバナンスの概要 (2) パブリックガバナンスの概念 2) 公共図書館におけるガバナンス (1) 公共図書館と地方自治制度 (2) 公共図書館経営とガバナンス (3) 公共図書館におけるガバナンス (演習) 3) 大学図書館におけるガバナンス (1) 大学図書館と学術情報環境 (2) 大学図書館経営とガバナンス (3) 大学図書館におけるガバナンス (演習) 4) ケーススタディとグループ討議 (1) 図書館外の環境に関するガバナンス (2) 図書館内の環境に関するガバナンス
評価の方法	出席状況と授業参画度 (20)、小レポート (15*2)、最終レポート (50) の総合点で評価する。 レポートの評価は出題意図の理解と論理性を重視する。
教科書	なし
参考書	1. 講義の進行に合わせ、適宜資料を配布する。
オフィスアワー	
その他	授業の最後に次回のテーマについて説明をするので、予習を必ずしてくること